

巧成建設株式会社の「SDGs宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77SDGs支援サービス」を通じて、巧成建設株式会社（以下、「当社」といいます。）の「SDGs宣言書」の策定を支援いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業の「SDGs」への取組みを支援してまいります。

記

企業名	所在地	事業内容
巧成建設株式会社 (代表取締役 木村 創次)	宮城県仙台市泉区野村字 菅間前34-8	建設業

(企業概要)

当社は昭和62年創業の建設業者であり、平成元年に本社機能を仙台市泉区に移転して以降、泉中央の副都心化が着々と進む中で、住まいに関わる数多くの物件（集合住宅、商業施設、医療・福祉施設、工場等）の建築を行ってまいりました。

現在は総合建設業として仙台市の公共工事（主に学校等の新築・増築等）にも携わり、百万都市仙台の発展に寄与すべく業務拡大に努めております。また品質向上と環境への配慮（リサイクル建築資材の活用等）を重視し、ISO14001を取得するなど、「よりよい後世を創る」と題し、柔軟な発想と新たな技術力への挑戦により、安心・安全な地域社会のインフラ整備事業に取り組んでおります。

今後も環境や地域貢献等を通して持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

注. 当社の「SDGs宣言書」については、別紙のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。



SDGs宣言書

巧成建設株式会社

2022年1月28日

七十七銀行のSDGs診断により、「プラチナSDGs」のランクを取得しました。
当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組カテゴリ	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	取り組みの内容	関連が強いSDGsゴール
環境	<p>環境配慮 廃棄物の削減・3R</p> <p>CO2削減</p>	<p>廃棄物の適切な管理や、リサイクル資材の使用などを通じ、環境に配慮した経営を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO14001の取得 環境方針、目標計画の策定 環境マネジメントシステムに沿った資材の発注、使用 建設時に再生アスファルト使用 紙資源の削減計画 <p>環境目標計画を定め、CO2の発生抑制や、資源エネルギーの削減に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通勤車両の台数の削減のため、乗り合わせを推進 従業員へエコ運転マニュアルの配付 日々の工事日報や、定例会議により工事の進捗状況を確認、必要に応じてフローアップ工程表を作成して遅延を改善することにより、工期の手戻り及び工期遅れによる無駄な資源エネルギーを使用せずに竣工 	
製品・サービス	<p>品質保証</p>	<p>安全管理を徹底し、品質の良いサービスを提供するための仕組みを確立しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO9001の取得 品質目標、実施計画書の策定 安全衛生委員会の定期的開催 顧客満足アンケートの実施 	
社会貢献・地域貢献	<p>社会への影響の配慮</p>	<p>地域行事へ積極的に参加し、地元住民との交流の場を設けることで、地域の活性化に向けた取組を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 七北田川清掃活動への参加 中学校の職場体験受入れ 消防団活動への参加 子ども110番事業所登録 	

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

